

医療法人 誠医会
月岡医院
内科 ● 消化器内科

アライブ
Alive



ドイツの介護保険と 高齢者の暮らし

今年はドイツの医療・介護保険と 高齢者の暮らしについて視察しました。

5/27
~6/3



ドイツ連邦共和国

首都:ベルリン
面積:357,121km²
※日本よりちょっとだけ小さいです
(日本は377,972km²)
人口:8,267万人(2016年)



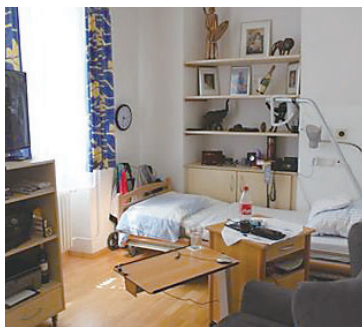
ホスピスで大きな役割を 担うボランティア

このホスピスはわずか8室ですが、看護師・介護職員が11名に26人のボランティアがいます。ボランティアは事前に死との向き合い方や話し方の6日間研修を受け、週1程度行っています。

テラスで快く私達の取材に笑顔で答えて下さる女性は、この入居型ホスピスでの暮らしに心から満足している様です。「テラスで食事をしたり、普通の生活ができるように心がけています。」と隣で微笑んで女性を見守る施設職員。ゆったりとした時間の流れを感じます。居室では医療機器が見えない様に目隠しの棚に収納され、センスが良く、家具の木のぬくもりが心地よい。入居者に医療を感じさせない配慮に、私達も心が温かくなります。



テラスで取材を受ける利用者さんと施設職員。関係が良く常に笑顔。快く取材に協力して下さいました。



ホスピスの入居者の居室。木のぬくもりが感じられ、自宅の自分の部屋のように。

ドイツの認知症ケア シェアハウスの選択

ドイツの認知症ケアでは一般の集合住宅に住み、介護度に応じてヘルパーの派遣を受けるシェアハウスを選択する方も多いようです。半面デイサービスのよう介護は少なく、自宅で過ごす認知症の方へのサービスは少なく感じました。

日本での認知症ケアでは、デイサービスやグループホーム、そして特別養護老人ホームなどへの入所が一般的ですが、高齢者マンションを選択される方も増えてきています。日本の高齢者マンションも重度な方の受け入れに積極的になり、看取りに取り組みむ施設も増えてきています。負担する費用は多くなりませんが、それでもシェアハウスやマンションを選ぶのは「普通の暮らしを続ける」ことができるからです。

最後の迎え方は 自分で決める

シェアハウスに入居する方に、「どこで最後を迎えますか?」と聞くと、当たり前「ここで亡くなります」と答えます。ほとんどの方が病院での延命治療を希望せず、自然死の考え方を受け入れていきます。入居前にはリビングウィル(終末期における医療への事前の希望)を提出しています。ドイツではその意志を尊重するために、成年後見制度の利用も他国と比べ圧倒的に多いのです。



シェアハウスに住む利用者さんとスタッフ。ベルリンにはシェアハウスが700もあります。

日本でも最近ACP(アドバンス・ケア・プランニング)(患者さんの終末期に、家族、医療・ケア関係者等があらかじめ話し合うこと)の必要性が議論されています。今回ドイツを視察し、患者さんが自身の終末について、しっかりと希望を持っておられ、死を見つめることにより、今生きることを大切にしておられることに感動しました。私自身そうあることができ、また患者さんの気持ちに寄り添いたいと感じた視察でした。



アニマルセラピーを行っている施設にて。ドイツの施設にはアルパカが多くいるそうです。

ドイツの介護保険認知症ケア 視察ツアーのスケジュール

- 5/27 羽田発~フランクフルト着
- 5/28 フランクフルト
[午前] フーフェラント総合施設
[午後] クリストファー・ホスピス
- 5/29 フランクフルト
[午前] リュッセルハイム・アルツハイマー協会支部
[午後] セントキャサリン高齢者住宅
夕方、ベルリンへ移動
- 5/30 ベルリン
[午前] AWWホスピス・ベルリン
[午後] アニマルセラピーの
マナ・ウェデル
- 5/31 ベルリン
[午前] 認知症ケアのNBHS
[午後] 全国アルツハイマー協会
- 6/1 ベルリン
[午前] 大手高齢者施設カリタス
[午後] 太陽の家ベルリン
- 6/2 [午前] 自由行動
[午後] 移動
(ベルリン⇒フランクフルト⇒日本)
- 6/3 羽田着~解散

平成5年
金沢大学医学部卒
済生会病院内科医長
平成13年
月岡医院副院長 就任
平成19年
月岡医院院長 就任

PRO
FILE



院長 月岡 幹雄

月岡医院は先代が昭和46年に胃腸の専門、また地域のかかりつけ医として開業し、地域の皆さまと共に歩んできました。地域の高齢化と1人暮らしの増加から、地域のかかりつけ医として患者様の暮らしも含めて治療・ケアの必要性を感じ、国内外の在宅ケアについて勉強中。認知症サポート医として認知症ケアの実践事例も豊富に経験しています。外来診療、訪問診療、往診に対応させていただき、在宅での看取り経験も多数あります。患者様、ご家族の希望に沿った治療・ケアを、関わる他職種と連携してサポートしています。



ドイツビール楽しみにしていました!おいしいです!



ブランデンブルク門
パリと並ぶ有名な凱
旋門です。



ホロコースト記念碑
虐殺されたユダヤ人
のための記念碑



誠 医 会 ニ ュ ー ス !!

★第2回地域包括ケア勉強会を開催



講師:浅川澄一氏
講演:地域包括ケアの課題
日時:H30年4月12日(木)
18:30~20:30
場所:越前市福祉健康センター

「地域包括ケアシステム」とは高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するシステムです。4月12日ジャーナリストで元日本経済新聞編集委員の浅川澄一氏を招き、「第2回地域包括ケア勉強会」を開催しました。行政の担当者や地域の医師を始め医療・介護関係者、銀行や会計事務所などの一般の方まで、70名の方が参加しました。浅川氏は毎年多くの海外視察に行き、医療・介護のジャーナリストとして、特に高齢者の住まいと、終末の迎え方をテーマとしています。



月岡院長もその視察に同行させてもらい、高齢者の医療と介護について議論を重ねてきています。今回は浅川氏の考えを市内の皆さんと共有したいと考え、開催させていただきました。質疑応答では先生方から多くの質問議論が寄せられ、市内の先生方の真剣な思いを伺い感動しました。(月岡医院 山本まゆみ)

★地域のみなさんと「ケアニン」上映会 映画モデルの加藤忠相氏講演会を開催



金剛院ご住職の諏訪氏より「映画 ケアニン」の上映会をやりたいと連絡を頂き、上映委員会の事務局として上映会の運営をさせていただきました。「ケアニン」のモデルとなった株式会社あおいけあの加藤忠相さんは弊社職員も講演会に参加させていただき、大変感動したため、「映画上映と加藤さんの講演会」との企画になりました。多くの市内事業者様から協賛をいただき、実行委員とともに協賛企業様もチケット販売に協力いただきました。映画上映には上映3回、合計660名



代表 諏訪ご住職と FM福井放送でラジオ告知



の方が鑑賞し、涙涙の大感動でした。6月17日の加藤さんの講演会では「認知症とともに生きる～個性を見出し住み慣れた地域で暮らし続けるには～」とのテーマで講演頂き、認知症の方は自分が困っているから、周囲も対応に困る。困ってなければ、安心して暮らせるのだと加藤さんの施設のご利用者様を例にお話しいただき、同業の方からも目が覚めるような気持ちになったと喜ばれました。(月岡美佳)

仕事内容とは?
受付と事務処理会計をしています。月岡医院に勤めて7年目になります。出身は福井市で、今立に嫁ぎましたので、越前市のごとく、医院に勤め始めてから知りました。
受付で気をつけていることは?
当院にいらっしゃる患者様の表情を見てどのような具合なのか、と考へてから対応するようにしています。つらそうな方もいらっしゃるので、気持ちに添った対応ができるように

スタッフ
通信
月岡医院 医療事務
荒川 智美 さん



心掛けています。時間帯によっては、患者様に長くお待ちいただくこともあるので、患者様の体調に変化がないか、不快な気持ちになっていないかを配るよう気を付けています。定期的に通院されている患者様とは、顔なじみとなり、病気の近況などの会話ができて、それが楽しみです。
月岡医院の良いところは?
地元密着で長く診療しているところだと思えます。主人の両親から「月岡さんって胃カメラの」と隣の地域でもよく知っていました。また勤める側からだと、子育てを応援してくれるところが、子育てを応援しています。2年前に3人目を出産しましたが、育児でお休みし、今は短時間のパート勤務で育児と仕事を両立しています。スタッフの皆さんが子育てをしている方や、子育ての先輩なので、相談に乗ってもらっていますし、子どもの急な病気や用事の休みも理解して、快くサポートして下さっています。スタッフの皆さんも長く勤めている方が多く、仲が良いですし、話しやすい雰囲気です。

すくすくすまいる賞をいただきました

越前市では従業員の子育て支援に積極的に取り組んでいる事業所を「すくすくすまいる事業所」として登録していますが(H30年5月で156事業所)、その中で特に取り組みが積極的であるとして「すくすくすまいる賞」をいただきました。受賞した他の2社はキョーセイ様と田中建設様。



弊社は男性の育児休暇や娘さんの出産のための長期有給休暇などを評価していただきました。これからも職員が働きやすいように希望を聞いて、工夫していきます。(月岡幹雄)



はぐるま太鼓!迫力の大演奏 アイ夏祭り

今年もデイスサービスアイの夏祭りに「はぐるま太鼓」さんが演奏に来てくれました。体全体に響く迫力の太鼓!1年1年演奏者の少年たちの成長が素晴らしく、毎年利用者様が楽しみにしています。「みんな元気で長生きして下さい」と手作りのお地藏様のキーホルダーに大きなパワーをいただきました。



(アイ 今村紘康)

① 接遇研修

株式会社ハートデザイン
中村清美 先生



7月29日(日) 全体研修として接遇研修を行いました。中村先生は「患者様・利用者様と私達の相互満足のために」「接遇力という、コミュニケーション能力を高める」ことを目的に継続した研修をお願いしています。中村先生の研修は平成26年から年数回全員で受講し、今回が17回目になります。

アイコンタクトと笑顔の基本から、患者様利用者様への声のかけ方について振り返ります。特に介護事業所では毎週一緒に過ごす利用者様とは馴染みの関係になり、親しみが馴れ馴れしい言葉になってしまっていないかお互いに注意します。アンガーマネジメント(怒りのコントロール)では仕事以外の場面でも有効です。

② 根拠に基づいた介護技術研修

一社)地域ケア総合研究所
須江祐子 先生

今年7月より須江先生を講師に招き、厚生労働省が進める「キャリア段位制度レベル認定」に添った「根拠に基づいた介護技術研修」を月1回継続して行っています。受講しているのは昨年キャリア段位の評価者の資格「アセッサー」を取得した職員2名と介護事業所の指導者2名。



この研修は職員の介護技術のレベル認定も目的ですが、それ以上に統一された介護が利用者様にとっても職員にとっても大切なため行っています。おむつ交換一つも職員によって手法が違くと、利用者様は戸惑います。職員もA先輩の言う通りにしたのに、B先輩から「やり方が違う」と指導されるとどうしていいかわかりません。そのようなことを防ぎ、安心して自信を持って介護をしてほしいと考えています。

第4回出張認知症カフェ

～ドキュメント「ふたりの時を心に刻む」～

講師 小宮英美氏(ジャーナリスト・元NHK解説委員)
日時 平成30年9月29日(土) 14:00~16:00
場所 越前市福祉健康センター(アルプラザ4階) 多目的ホール
対象 どなたでも 申込不要

お知らせ

医療法人 誠 医 会



内科◎消化器内科

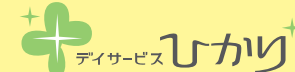
〒915-0811 越前市本多1丁目10-18
TEL: 0778-23-0220
URL: http://tsukioka-med.com/

診療時間 月 火 水 木 金 土 日/祝
8:30-12:30 ○ ○ ○ ○ ○ 休
14:00-18:00 ○ ○ ○ 休 ○ ※ 休

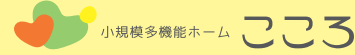
※第2・第4土曜は14:00~16:00の診療
◎毎週月・木曜は早朝診療を実施(AM8:00~)
◎診療の予約承ります f フェイスブックもご覧ください



越前市本多1丁目12-3 TEL.21-5833



越前市桂町8-23 TEL.22-1035



越前市本多1丁目8-12 TEL.23-2022

